

# 校友会報

中央学院校友会本部

〒136-0071 江東区亀戸 7-65-12

中央学院大学中央高等学校

TEL (5836) 7020

毎年1回発行

誠實に謙虚を生きよ  
 涙かたで人に接し  
 奉仕と感謝の心を養えよ  
 常身を慎み反省せよ  
 研鑽を怠れるな

創立者 高橋順一郎先生 提言  
 建学の精神  
 平成二十八年



中央学院  
 校友会  
 会長 寺嶋昭雄

校友会の皆様、こんにちは。中央学院校友会会長を務めさせていただいております寺嶋昭雄でございます。ご挨拶にあたりまして、この度の熊本地震で被災されました皆様によりお見舞い申し上げますとともに、一日も早い復興をお祈り申し上げます。

さて、本校友会に係わりを持つてから、三十有余年の月日を数えるまでになりました。顧みれば、中央商業から中央学院大学中央高校への校名変更、中央区永代橋から江東区亀戸への移転、小学校の仮校舎から本格的な高校校舎への新設など、目まぐるしい変化の中で、校友会の運営がなされてまいりました。この間、多くの方々との出会いや別れがありました。42期の小川大先輩の強力な個性と指導力、自他ともに、尊敬していた54期の荻野先輩の行動力には舌を巻くことがしばしばありました。多くの先輩が心ひとつにして母校のために、ご支援ご協力をいた

きましたことにお礼申し上げます。

こうした変化の中で、心に残る人物は37期の津村道雄先輩のことであります。実にたくさんのことを教えていただきました。物事の神髄を知り、長きにわたって校友会会報の編纂に務め、創立百周年記念誌の編纂委員長も務めあげました。その中には中央商業を手掛けた「高楠順次郎他七人の侍」、歴史をフィルムに穴あき模様を列車の線路に見立てて力強く走り抜ける機関車をイメージに表現する感覚は見事なものでした。津村さん独特の感覚が開花したものでした。また、中商を盛り上げたボクシング部の歴代チャンピオンを訪ねて大久保のたまり場に取材に行った行動力は並外れていました。その際の盛り上がりは大変なものでした。専務理事としても我々後輩の指導に専念していただきましたが、あまり評価が得られない時には、駄々をこねる仕草を見せる、やんちゃなところを持っていました。

山椒は小粒でピリリと辛い、と感じる文書の言い回しが特徴で、「なるほど」と、感心させられることが多々ありました。

こうした教えがあつたればこそ、先輩の後を継ぎ、校友会の専務理事

として校友会運営に携わりながら、理事会の活性化に努めてまいりました。平成二十七年二月に、前任の52期・熊澤先輩の後を継いで会長に就任し、法人の評議員や理事の職に努めております。

今年度は、校友会独自のホームページを立ち上げました。これにより、校友会報の記載記事が会員の自宅でも見ることが可能になります。関連する大学・高校の情報も即座に手に入れることが出来ます。益々便利になります。

ところで、平成三十二年の四年後には母校の創立百二十周年を迎えます。ちょうど東京オリンピック開催の年に当たります。

周年行事の取り組みには、教職員の協力と、校友会の皆様のご支援が何より必要となります。まだ多少の時間がありますが、特に寄付の取り組みについては、あらゆる手段を駆使して取り組んでまいりたいと考えております。

校友の皆様におかれましては母校である中央学院大学中央高校に特段の関心をお寄せいただき、立派な周年記念行事が出来ます様、ご協力、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成28年 合同新春懇親会

平成28年1月27日(金) 恒例の四者合同新春懇親会が、スカイツリーに隣接する吾妻橋のフラムドールで開催されました。多くの方々が元気に参列して、過年度のご無沙汰と新年の挨拶を交わっていました。



寺嶋会長挨拶



土田校長挨拶

平成28年度 定時評議員会 及び校友懇親会

平成28年6月24日(金)、第一ホテル両国において、定時評議員会(総会)及び懇親会が開催されました。

総会は、寺嶋議長の下で前年度会務報告、梅津会計理事による決算報告及び進藤監事による監査報告、そして谷本専務

理事による本年度の事業計画並びに梅津会計理事による予算案が審議され、出席者からの質疑応答を経て全会一致で原案が可決されました。

その後、参列者は懇親会の席に移り、親しく意見交換をしました。

校友会理事会(親睦) 「記念碑」の清掃と理事会

7月3日(日)、月島のもんじや焼き(花菱)で理事会が開催されました。これに先立ち、午後1時に永代橋際にある「新川母校記念碑」前に集合し、帚・水・雑巾等で清掃した後、会場に徒歩で向かいました。理事会は、吉野法人理事長の参加を得て、寺嶋会長のあいさつの後、谷本専務の仕切りで議事進行になりました。閉会后、その場で懇親会に移り、和やかな雰囲気の中で終了しました。

校友会理事会 「年あそび」締の括り理事会

10月28日、1年を振り返って納の理事会が開催されました。議題の中では、特にホームページの設定に関して説明が持たれ、次のことが決まりました。

佐藤副会長から、①中央学院校友会独自のホームページを設ける。②学校のホームページとリンクする。従って、高校・大学を含めて情報の交換が可能になる。③校友会会報はホームページから見

ることが出来るので、発送をやめる。ただし、会費納入者には従来通り発送する。



新川母校記念碑(中央商業学校発祥の地)

平成28年度 事業計画

定時評議員会において、平成27年度の事業計画・会務報告・決算・予算・監告並びに校友会役員等が決定されました。

- 一、評議員の活性化をはかる
- 二、会費の増収につとめる
- 三、会報の年一回発行を実行する
- 四、在校生、学校との連絡を強化する
- 五、中央学院校友会校友会連合協議会と連絡を密にする
- 六、委員会活動を活性化させる

平成28年度 校友会役員名簿

役職	氏名	卒期
会長	寺嶋昭雄	55
副会長	佐藤昌信	60
専務理事	石田高幸	61
常任理事	白藤勝弘	62
常任理事	平川一幸	62
常任理事	谷本伸一郎	66
常任理事	梅津重徳	65
常任理事	村松幸徳	50
常任理事	中山昌治	54
常任理事	秋山正夫	55
常任理事	樋口やい子	62
常任理事	高島有美子	78
常任理事	大橋治久	79
常任理事	金子信一	65
常任理事	中野由一	73
常任理事	青木康則	79
常任理事	藤掛晃浩	84
常任理事	柳辰徳	96
常任理事	村尾幸夫	42
常任理事	進藤正彦	54
常任理事	山崎明彦	50
常任理事	吉野賢治	51
常任理事	佐藤賢治	51
常任理事	澤田和昭	51

42期の小川 勇名誉会長および62期の時田孝之理事の両名が亡くなりました。

会務報告

\*平成27年

4月5日 学院大入学式  
 4月9日 中央高校入学式  
 4月10日 中央学院高校入学式  
 4月20日 連合協議会正副会長会議  
 4月24日 決算監査  
 4月24日 校友会理事会  
 5月31日 連合協議会総会・親睦会  
 正副会長会議  
 6月1日 // 日光  
 6月24日 定時評議員会(総会)  
 10月11日 中央祭  
 10月23日 校友会理事会(親睦会)  
 12月18日 校友会理事会納会

\*平成28年

1月2日 箱根駅伝(往路)  
 1月3日 箱根駅伝(復路)  
 1月3日 駅伝慰労会  
 1月27日 四者合同新春懇親会  
 3月5日 中央高校卒業式  
 3月5日 // 謝恩会  
 3月6日 中央学院高校卒業式  
 3月20日 学院大学位記授与式

平成27年度 収 支 決 算 書

自平成27年 4月 1日  
 至平成28年 3月31日

(単位:円)

収入の部	決算	予算	差異	支出の部	決算	予算	差異
会 費 収 入	2,948,000	2,800,000	148,000	評 議 員 会 費	210,000	300,000	△90,000
				会 報 等 印 刷 通 信 費	880,065	1,000,000	△119,935
寄 付 金 収 入	0	10,000	△10,000	同 期 会 補 助	193,528	50,000	143,528
				同 好 会 補 助	0	40,000	△40,000
				事 務 費	0	100,000	△100,000
雑 収 入	4,231	0	4,231	慶 弔 費	10,000	50,000	△40,000
				ス ポ ー ツ 奨 励 金	10,000	250,000	△240,000
				中 央 学 院 連 合 協 議 会 々 費	100,000	100,000	0
				新 入 生 卒 業 生 記 念 品	587,088	500,000	87,088
				雑 費	24,410	50,000	△25,590
				予 備 費 他	0	200,000	△200,000
経常収入計	2,952,231	2,810,000	142,231	経常支出計	2,015,091	2,640,000	△624,909
基本財産運用収入	27,376	27,000	376	基本財産組入支出	0	1,000,000	△1,000,000
前年度繰越金	2,038,115	2,038,115	0	次年度繰越金	3,002,631	1,235,115	1,767,516
計	5,017,722	4,875,115	142,607	計	5,017,722	4,875,115	142,607

※他に基本財産 10,320,000円(5年千葉県債 932万円 (0.35%) 5年大阪府公募債100万 (0.173%) )

平成28年度 収 支 予 算 書 (

自平成28年 4月 1日  
 至平成29年 3月31日

(単位:円)

収入の部	予算	前年度予算	差異	支出の部	予算	前年度予算	差異
前 年 度 繰 越 金	3,002,631	2,038,115	964,516	評 議 員 会 費	300,000	300,000	0
会 費 収 入	2,150,000	2,800,000	△650,000	会 報 等 印 刷 通 信 費	1,000,000	1,000,000	0
寄 付 金 収 入	10,000	10,000	0	同 期 会 補 助	50,000	50,000	0
				同 好 会 補 助	20,000	40,000	△20,000
				事 務 費	100,000	100,000	0
雑 収 入	0	0	0	慶 弔 費	50,000	50,000	0
				ス ポ ー ツ 奨 励 金	50,000	250,000	△200,000
基本財産運用収入	27,000	27,000	0	中 央 学 院 連 合 協 議 会 々 費	100,000	100,000	0
				新 入 生 ・ 卒 業 生 記 念 品	500,000	500,000	0
				雑 費	50,000	50,000	0
				予 備 費	200,000	200,000	0
				基 本 財 産 組 入 支 出	2,000,000	1,000,000	1,000,000
				次 年 度 繰 越 金	769,631	1,235,115	△465,484
計	5,189,631	4,875,115	314,516	計	5,189,631	4,875,115	314,516

※同期会補助—同期会(クラス会でないもの)の補助年間1回 10,000円。

※同好会補助—同好会(10名以上の団体)の補助年間 20,000円。

※スポーツ奨励金—中央高校のスポーツ充実・発展を図る為生徒・運動部に対して奨励金を支給する。

# 中央祭

生徒実行委員長 吉原 遼太郎

私が中央祭実行委員長を務めて一番苦労したことは、人をまとめるということでした。他の実行委員に指示をしても上手く伝わらないことがあり、人はそれぞれ考え方が違うと感じました。



秋の夕焼けと金魚を描いた中央階段

しかし、周囲の行動を見ながら、この人にはこの仕事をお願いしよう、この人には、この仕事に向いていると、次第に人を動かすことができるようになりました。それによって、実行委員の作業が円滑に進み、予定よりも早く終わらせることができました。今では、僅かながら、人として成長できたのではないかと思っています。これまで、人の上に立ち

、人を引っ張ることはあまり得意ではなかったのですが、今回の経験は、とても貴重なものでした。



イベントの間には憩いの場もありました

改めて振り返ると、今年の中央祭は、とてもよいものになったと感じています。何と言っても、昨年までの二年間は雨でしたが、今年は、三年間で初めて晴れました。そのお陰で、来場者数が大変多くなりました。もしかすると、私が『晴れ男』だからかもしれませんね。

装飾に関しては、『祭』をイメージし、正門から玄関までは、縁日の屋台を模した各クラスの看板を配置、玄関にはアーチまでとはいかないまでも門を作成。中央階段には、秋の夕焼けと金魚を描き、階段を上がった正面には、発泡スチロールを彩色して皆で布に貼り付けた花火を設置、吹き抜けには、色とりどりの提灯を飾り付けました。当日の各企画と共に来場者の皆さんにも喜んでいただけ

たのなら嬉しく思います。

最後になりますが、実行委員会の人達や友達には、様々な場面で助けてもらいました。ありがとうございます。心から感謝しています。

また、数多くのご助言をしてくださった先生方や、中央祭の開催にご協力いただいたPTAの方々にも生徒代表として改めてお礼申し上げます。ありがとうございました。



体育館ではバンドなどの発表会も行われました

## 新生徒会長 (牛尾颯真)

こんにちは、このたび生徒会長に就任しました牛尾颯真です。昨年度は、生徒会会計をさせていただきました。初めての生徒会の仕事で戸惑うことばかりでしたが、前生徒会長が生徒の為に頑張りに仕事をしている姿を見て、自分も会長になり頑張っていこうと思いました。私

は学校に携わる仕事が好きです。中央祭や体育祭、球技大会などすべての学校行事に参加できる生徒会の仕事にやりがいを感じます。私は、会長として実行したいことが四つあります。一つ目は目安箱の数を増やし、生徒一人ひとりの声を聞き一つ一つ改善していきたいと思っています。二つ目は、挨拶運動です。生徒全員が明るく笑顔で挨拶が交えるようにしたいです。三つ目は、生徒会新聞の復活です。昨年度は生徒会が三名しかいなかった為、なかなか発行することができませんでした。今年度は各学期に発行したいと思います。四つ目は、他校生徒会との交流会を増やしたいです。お互いの学校の問題点や良い所など情報交換がたくさんできるような交流を深くしたいです。有言したからには実行します。



中央学院大学中央高等学校をより良い学校になるよう全力で取り組みたいと思っております。一年間よろしくお願いたします。



## 中央学院大学 中央高等学校

専任講師



石田 寛

大学卒業後、建築関係の営業として四年間、その後都立高校の非常勤講師として二年間働かせていただき、今年度から中央学院大学中央高等学校の専任講師として勤めさせていただくことになりました。

学生時代は野球に打ち込み、スポーツを通じて精神力、コミュニケーション能力、協調性を学び、目標に向かって試行錯誤する中で成長する喜びを実感することができました。この経験を次の世代の子たちにも伝承していきたいと思

教員の仕事につくことに決めました。

建築の世界にて実際に現場で働いた経験を商業という科目の中で、より実践に近い形で指導出来ればと思います。自ら考え、自ら学び、自ら行動できる生徒の指導をしていきたいと思っております。現在、社会が急速に変化する中で、特にそのような能力が必要になってきていると感じます。

また、生徒の様子を見ると「自分に自信がない」生徒が、少なくない印象を受けます。学生時代に一つでも多く「成功体験」をして、その積み重ねた「自信」を社会に出た時に役立ててもらえればと願っています。

最後になりますが、まだまだ未熟者の私ですが尽力して参ります。今後ともご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願い致します。

### 簿記実務検定・情報処理検定・ビジネス文書検定全商一級三種目合格

三年D組 佐藤 京子



九月に行われた全商情報処理検定試験の一級を合格し、三種目目の一級合格をすることができました。

私は中央高校を受験する際に、将来に

役立つことを学びたく、商業科を希望していました。そして入学後に初めて商業の授業を受けることになります。パソコンに関しては、中学生の頃より、家にあるパソコンを使っていたこともあり、授業を通してより多くの時間を練習することで入力スピードが上がっていきま

した。またこれまでよくわからなかったソフトウェアの機能の使い方も覚えていくことができました。一方、簿記に関しては全く初めて学ぶ内容で、段階を経て理解できるように指導をしていただいたおかげで、楽しく学べたこともあり、私の中では一番の得意科目となりました。

商業科では一年生の一学期から商業の検定試験にチャレンジしていくこととなります。最初は三級からの取得になりますが、年に二回検定試験があることから、早い段階で二級までは合格していくよう努力し、二年生でビジネス文書検定の一級と簿記の一級会計の部門別合格を果たすことができました。そして三年生で簿記の原価計算を合格し、完全一級合格となり、最後の目標であった情報処理検定の一級も合格できました。

私はこの目標を達成できたことで、本当に商業科に入って良かったと実感しています。そして頑張ってきたことをより伸ばしていきたいと思ひ、大学進学を希望しています。また、このような結果を出すことができたのも、先生方が授業だけではなく、熱心に放課後にも指導してくださったおかげで、とても感謝しています。

### 研修旅行を終えて

一年A組 井上 ゆりか

平成二十八年度入学生は山梨県河口湖方面へ、研修旅行に行ってきました。ほとんどの生徒が知り合いの居ない状況で、誰もが不安でいっぱいでした。



二泊三日の中日に木々に囲まれた炊事場で、飯盒炊飯を行いました。それまで班のメンバーとは一度も話したことがなく、このまま無言で作業するのが心配しました。ところが、説明が終わりに、カレー作りにとりかかると、みんなで見えを出し合い、役割を決めて協力して作ることが出来ました。また、煮込んでいる時間や、食べているときに、中学校の話や、これから入りたい部活の話で盛り上がり、とても楽しい時間を過ごすことができました。入学してまだ四日し

か経っていないのに、すぐに仲良くなる  
ことができたと安心しました。  
最終日には、この研修旅行で練習してき  
た、建学の精神の暗唱と、校歌の合唱を、  
クラス対抗で発表しました。建学の精神  
は選抜されたメンバーで暗唱するの  
ですが、間違えると最初からやり直しにな  
ります。発表する側も、応援する側も、  
大変緊張感がありました。無事、全員が  
言い終えた時は嬉しい気持ちと、安心し  
た気持ちでいっぱいでした。また、校歌  
は各クラス練習した成果を十分に発揮  
することができました。校歌は先生方が  
審査員をしてくださり、私たちA組は優  
勝することが出来ました。とても良い思  
い出です。



この研修旅行を通じて、中央学院大学  
中央高等学校の生徒としての自覚を学

ぶことが出来ました。たった三日間です  
が、クラスの仲がとて良くなり、研修  
旅行の目的を達成すると共に、豊かな経  
験ができたと思えました。

### 修学旅行

2年D組 牛尾 颯真

6月11日から4泊6日の修学旅行でハ  
ワイを訪れた。飛行機の中では興奮して  
しまい、なかなか寝つけなかった。



修学旅行で一番不安に感じていたのは、  
ホームステイだった。英語がしっかりと  
通じるのか、ホストファミリーはどんな  
人なのか、とても心配していた。実際、  
ホームステイ先では全く日本語が通じ  
ず、みんな必死で英語とジェスチャーを  
交えてコミュニケーションを取ろうと努

力した。しかし、言葉は通じなくとも、  
公園でバーベキューをしたり、海に連れ  
て行ってもらったりと、楽しく過ごすこ  
とができた。

三日目はステイ先のファミリーと別れ、  
クアロア牧場でアクティビティ体験  
をした。私が体験したのは、四輪バギー  
とジープツアーだった。四輪バギーは、  
コースを回りきるのとても難しく、リ  
タイアする人や草むらに突っ込んでし  
まう人がいた。ジープツアーは、四輪駆  
動の大きな車に乗り、ハワイの伝統や文  
化などの説明を聞きながら、大自然の中  
を走るアクティビティだった。乗客を楽  
しませるために激しい運転をするので、  
シートベルトをしていてもイスから落  
ちるくらい揺れた。



四日目は自主研修で、ホノルル市内をグ

ループで事前に計画した行程表に沿っ  
て廻った。私たちの班は、カメハメハ大  
王像とアラモアナショッピングセンタ  
ーを訪れた。トロリーバスに乗り、運転  
手の陽気な歌を聴きながら、ワイキキの  
海を見ていると、心地よい風が吹き抜け、  
ハワイに来ているという感じがした。最  
終日、ホテルでの解団式後、パールハー  
バーを訪れ、戦艦ミズーリーを見学し、  
歴史について学び、とても大きな大砲に  
驚かされた。今は、この修学旅行を通し  
て自分が少し成長することができた  
と感じている。ホストファミリーとは交流  
をとりながら、今度、ハワイに行くとき  
には、日本のことが説明できるくらい英  
語力を高めるよう勉強を頑張りたいと  
思っている。

### 体育祭

体育祭実行委員長 橋本 七夢

今年の体育祭は、葛飾区総合スポーツ  
センター陸上競技場で行われました。天  
気を心配していましたが、皆の願いが雲  
を吹き飛ばし、当日は、晴天に恵まれま  
した。会場が例年よりも広くなり、種目  
やルールの変更など、戸惑うこともあり  
ましたが、充実した体育祭となりました。  
私は体育祭実行委員長を務め、二つの  
ことを学びました。一つ目は、全校生徒  
の前に立ち、皆をまとめる難しさです。  
当日や予行練習においては、スムーズに  
進行できるように呼びかけをしたり、選  
手宣誓で会場の心を一つにしたり、自分  
のできることに精一杯取り組みました。  
二つ目は、時には周りの人に頼ること

も必要だということです。多くのことを一人でこなそうとして、焦っていたところ、先生方がヒントをくださったり、クラスメートや実行委員の皆が協力してくれたりしました。私は、一人で考えこむのをやめ、周りの人とコミュニケーションをとることにしました。すると、周りの人たちが、協力してくれて、皆で体育祭を盛り上げることができました。



最後に、クラスの代表として一緒に頑張ってきた実行委員、ここまでご指導してくださった先生方、ジュース販売や応援をしてくださった保護者の方々に、感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございました。



### 球技大会

3年D組 譚 禹鑫

6月9日に、中央区立総合スポーツセンターで球技大会が行われました。私は実行委員長として、実行委員の先頭に立ち、協力し、全校生徒が一致団結し楽しむこ

とができる球技大会にすることが大切だと感じました。



今年にはバスケットボール・バレーボール競技場の関係からソフトボールがなく、代わりにバドミントンと卓球の4種目で行われました。今年はずべての種目が体育館で行われました。私は卓球担当でしたが、各競技場に足を運び試合の進行状況など見て回りました。どの競技場も白熱した試合が展開されてとても盛り上がっていました。どのクラスも皆と協力し合い優勝を目指し一生懸命競技、応援する姿を見て感動しました。球技大会は優勝することも大事ですが競技を行うことでクラスが一つになり協力し合うことが重要だと感じました。来年以降も毎年盛り上がる球技大会にしてほしいと思います



## 部活の紹介

### レスリング部

2年D組 熊田 太陽

私は8月16日～19日まで、大阪府堺市の金岡公園体育館で行われた「第32回全国高校生グレコローマンスタイルレスリング選手権大会」に出場しました。

この大会は、各都道府県から各階級2名の選手が出場することができます。5月に行われた東京都予選では、新人戦のチャンピオンに勝利し、出場権を得ることができました。



加し、ナショナルチームのコーチに指導して頂き、体力・技術の向上に努めました。

私が出場する階級は84kg級でしたが今回は3キロの減量があり、大阪に入ってから体重調整をしながら無事に計量をパスすることができました。

1回戦は福岡県代表の選手と対戦しました。先制点を取り、フォールの体勢まで行きましたが、逃げられてしまい、逆転フォール負けをしてしまいました。この敗因は練習量と経験値の差だと思います。

今年も2年生で出場することができたので、この経験を活かし、来年の大会では一つでも多く勝てるようにさらに練習に励みたいと思います。

6月に行われた関東大会は、直前に怪我をして出場することができなかったのですが、その気持ちをこの大会にぶつけるつもりで練習に取り組んできました。

大会前には東京都の合同合宿にも参



## 中央学院高校

### ★「中央学院高校の近況」

教頭 横田 一弘

平成28年度は新入生368名を迎え、総数1,075名でスタートしました。教職員は生徒と共に本校の特色を最大限に活かす学校作り日々努力を重ねています。今年3月には新武道館が完成しました。武道館では、生徒たちが気持ち新たに校技である剣道の授業や各部活動に打ち込んでいます。

平成27年度の進路状況は、9年連続の国立大学複数合格（東京芸術大学・福島大学・静岡文化芸術大学・高知工科大学）、中央学院大学への進学者数は54名（合格実数65）、その他大学への進学者数は278名、短期大学への進学者数は22名となり大学短大への進学者率は75.9%を達成しました。生徒達は明確な目的意識をより明確なものにしていくために学習や部活動に真剣に取り組んでいます。

また、本校で取り組んでいる検定資格取得は、昨年度から引き続き9種10検定を実施しています。平成27年度は総受検者数948名、2級以上の合格者は77名と過去最高の結果でした。

2学期に入り、学院祭（来場者数2,000名以上）や体育祭、校技大会（剣道・弓道）など学校行事を通して生徒一人ひとりがお互いに相手を認め合い、尊重し合い、微笑ましい雰囲気在校内に満

ちています。本校は創立50年に向かっていきます。この50周年はゴールではなく遠くを見据え、確実に歩みを進めていく未来へとつながっていると実感しています。

最後に平成28年度の主な部活動の結果を報告します。

- ・サッカー部：第3回全日本ユース（U18）フットサル大会（宮城県仙台市）、予選リーグ3勝 1位通過  
決勝トーナメント準々決勝敗退  
ベスト8
- ・チアリーディング部：ジャパンプ2016チアリーディング日本選手権大会に出場（東京都代々木体育館）
- ・書道部：第9回全国高等学校書道パフォーマンス選手権大会出場（愛媛県伊予三島運動公園体育館）
- ・陸上競技部：関東陸上競技選手権大会出場（千葉県総合スポーツセンター）男子1500m中野皓上3年）全国高等学校選抜陸上競技大会（大阪長居陸上競技場）男子10000m中野皓上（3年）
- ・野球部：秋季千葉県高等学校野球大会（大阪長居陸上競技場）準優勝第69回秋季関東地区高校野球大会出場（栃木県宇都宮市）ベスト8

## 中央学院大学

☆6月12日、硬式野球部が第65回全日本大学野球選手権記念大会で準優勝しました。



本学史上初となる決勝戦に進出、中央学院大学と対戦しましたが、惜しくも2対5で敗れ、準優勝という成績を残して戦いを終えました。  
全国制覇は逃しましたが、第54回大会のベスト4の記録を塗り替えることができました。また、志岐晴太郎選手(商学部4年熊本城北高校出身)が、敢闘賞を受賞しました。

☆第53回日本女子学生ゴルフ選手権競技で金澤志奈選手が優勝しました。

8月24日(水)〜26日(金)に行われた第53回日本女子学生ゴルフ選手権競技でゴルフ部の金澤志奈選手(商学部3年、岩瀬日本大学高等学校出身)が、初日首位タイで好スタートを切り、2日目に単独首位となって、2位との5打差をキープしたまま優勝を遂げました。



☆7月1日、本学大学院と提携している台湾逢甲大学の研修団26名(引率教員2名と学生24名)が本学を訪問されました。

本学の姉妹校である台湾淡江大学からの交換留学生、遊さん(商学部)が、中国語で本学の学部や部活等について紹介し、また、プライベートで日本を旅した体験も語ってくれました。

質疑応答の際には、台湾逢甲大学の団員から、「台湾の大学では商学部と法学部に女子が多く所属しているが、どうして中央学院大学では男子学生が圧倒的に多いのか」といった、文化の違いを感じさせる質問もありました。

☆我孫子市民プラザにて我孫子市国際交流協会及び我孫子市主催の第18回国際交流スピーチ大会が開かれました。

本学の留学生4名が日本語の部に出場し、それぞれ関心を持つテーマについて発表し各賞を受賞しました。

我孫子市長賞を獲得した台湾淡江大学交換留学生の遊さんは、風邪で体調不良の中、身振り手振りを交えてスピーチをしました。大学の茶道部に今年4月に入部し、これまでに学んだ茶道の「和敬清寂」という精神について、その言葉の意味やそこから得た自分の考えなどを発表しました。

☆我孫子警察署から吹奏楽団へ感謝状贈呈されました。

先月9月22日(祝)にアピコショップピングプラザで「全国秋の交通安全運動出動式」が開かれ、本学吹奏楽団が演奏を

行いました。  
その活動に対して我孫子警察署より感謝状をいただき、10月4日(火)、我孫子警察署長から直接記念品とともに手渡されました。



☆葛飾エフエム放送「かつしかFM」(78・9MHz)で、毎月第3水曜日18時から1時間「中央学院大学 清水研究室ラジオ」がオンエアされることになりました。

番組の企画や構成の段階から、法学部清水正博先生とそのゼミ生で作ります。

さまざまな番組コーナーの中で、学内口ケなどを通して中央学院大学の魅力を地域の皆様にお伝えしていく予定です。

## 箱根駅伝の取り組み

### 今後の予定

駅伝コーチ 尾上 岳史

#### 「箱根駅伝」

「校友会」の皆様方におかれましては、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。また、平素から私も駅伝部に「支援、ご声援をいただき、厚く御礼申し上げます。

12月に入り我孫子も日に日に寒さが増し、年間の最大目標である『箱根駅伝』が近づいてきたことを感じる季節となりました。本学も気がつけば15年連続18回目の箱根駅伝となり、ここ4年間で3度のシード権獲得と、箱根駅伝の常

連校の1つに上げられるチームとなりました。ただ、昨年度までは、潰滝大記（現・富士通）や塩谷桂大（現・SUBARU）といった駅伝では必ず結果を残し、他大学のエースに引けを取らない顔となる選手がいましたが、彼らが卒業した今シーズンでの戦力ダウンは否めませんでした。しかし、厳しい夏を乗り越え、チームは確実な成長を遂げていました。まず、10月に行われました『出雲駅伝』では、6区間中3区間で大学駅伝初出場となる選手（1年生の横川巧、高砂大地、2年生の廣佳樹）を起用しましたが、それぞれがしっかりと力を発揮し、また、上級生も主将の村上優輝が区間新記録で走るなど、上級生も力ある走りをして、過去最高順位となる4位入賞を果たすことが出来ました。特に、最長区間

のアンカー6区を任された高砂は、僅差で猛追する駒澤大、東洋大、早稲田大など6強と呼ばれるチームに追いつかれることなく逃げ切り、1年生とは思えない見事な走りを致しました。次に、11月に行われた『全日本大学駅伝』では、4年生の海老澤剛、海老澤太、3年生の新井翔理、細谷恭平など主力選手の故障が相次ぎ、万全なオーダーを組むことが出来ませんでした。全員がミスなくそつなく繋ぐ駅伝で、過去最高順位タイとなる総合5位の結果で、8年ぶりにシード権を獲得することが出来ました。特に、主力選手の故障によって駅伝を走るチャンスを得た下級生が、駅伝デビュー戦にもかかわらず粘りある走りを見せ、選手層も厚みを増したと感ずることが出来た駅伝となりました。

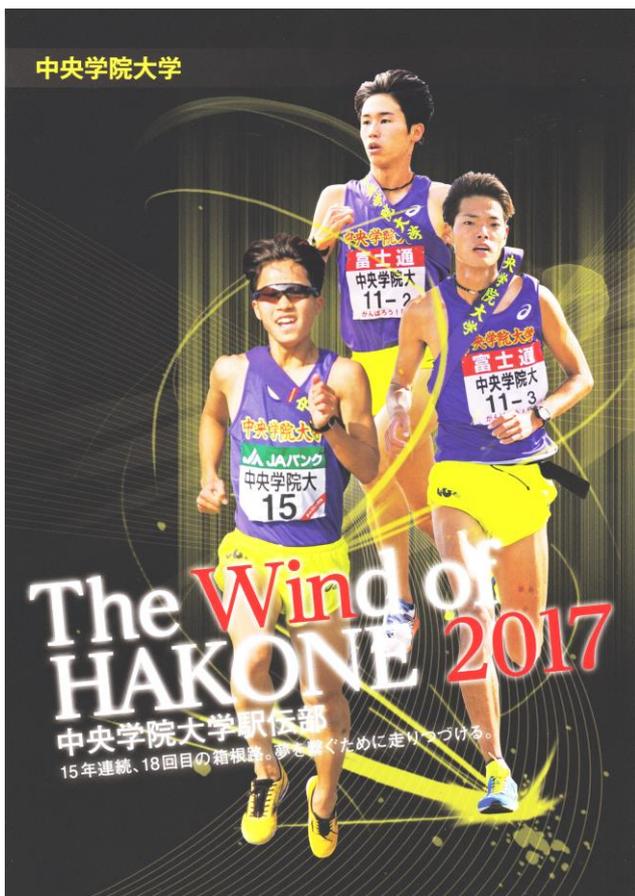
#### 箱根駅伝 観戦記

校友会会報の発行が、思わぬことから年越しになったため、正月の箱根駅伝の観戦記を書くことにしました。

毎年のことですが、お屠蘇の冷めやらぬ朝、テレビに食い入り箱根駅伝を観戦する。天候は快晴、一区の走りは先頭集団の中に入って、黄色のパンツがチラチラ見えて、好調なのが分かる。二区でもたついても、箱根の登りで猛追、底力を見せて、上位進出に期待が膨らんだ。

翌日は、登りと同様に箱根の山を大驚が急降下するように力強く下った。箱根の山に苦しめられてきた、今までは一味違う走りを見ることが出来た。新橋の応援団陣地は、両隣の帝京や国学院に勝る王者の威厳が漂っていた。その目の前を、総合6位のアンカーが走り抜けた。

（昌酒）



中央学院大学

The Wind of HAKONE 2017

中央学院大学駅伝部

15年連続、18回目の箱根駅伝。夢を届ぐために走りつづける。

この2大会を終えて、いよいよ残す大会は箱根駅伝のみとなりました。しかしながら、箱根駅伝で出雲・全日本のように6強と呼ばれる大学と戦っていくためには、主力選手が全員揃うことが必要不可欠です。まずは、12月10日（土）の箱根駅伝チームエントリー（16名）で、主力選手の顔ぶれがきつちりと揃うようにしたいと思えます。そして、新春の『箱根駅伝』では、6強と呼ばれる大学の上位争いに食い込み、フラッシュイエロー旋風を巻き起こせるようにしたいと思えます。

末筆にはなりましたが、校友会の皆様方の益々のご健康とご多幸を心よりお祈り申し上げます。お正月の『箱根駅伝』では、部員一丸となって挑みますので、ご声援の程、宜しくお願い申し上げます。



平成 28 年

## 校友会のつとめ

### ★51期同窓会

51期の同窓会が開かれた、という情報が入りました。

51期は、毎年同窓会を開いていますので、早速、佐藤義則相談役に連絡して情報収集を図りました。それによると、11月24日(木)、第4木曜日は毎年の定例会になっており、今回の会場は銀座の「サンク」という居酒屋兼カラオケ店で開催。22名が参加しました。集まれば、孫の話や健康の話に花が咲きます。酒も入り、佳境に入ったところでプロの歌手が登場するという、変わった演出のところのようでした。つい夢中になって写真を撮影するのを忘れたとのことでした。

### ★55期同窓会

6月18日(土) 55期の校友会が第一ホテル両国で開催されました。

2年に1度、開催するもので、今回は16人が参加し、スカイツリーのイルミネーションを窓越し眺めながら、仲間の消息、健康談義・孫ばかりか、ひ孫までの自慢話に花を咲かせました。永代橋校舎の懐かしい話に夢中になり、時間を忘れます。

中には大病を克服した人もいて、病院



選びや医者選びなど、力の籠った「うちんちく」を語る人もいて、聞く方も、つつい真剣な聞き手になって、納得しながら、終演となりました。また、近頃は、リハビリに専念する人、持病に苦しむ人、親兄弟の介護に時間を取られる人など、色々な理由で出席の人数が少なくなってきました。相撲の手形を持参してきた仲間がいて、ジャンケンで取り合うなどの余興があり、全員が盛り上がりました。

### ★ ホームページの立ち上げ

平成29年度から、中央学院校友会にホームページを設立します。サーバーは校友会独自が所有しますので、学校(高校・大学)等のホームページにリンクすることが出来ます。

卒業生への情報は、このホームページでいつでも開くことが出来ます。校友会報に記載されている役員名簿、年間予算及び年度計画、年間会務報告の他、校友会の総会及び理事会の開催時期や決定事項を確認することが出来ます。

また、学校関連としての中央祭や競技大会の模様、入学及び卒業式等の行事内容が分かります。

その他、校友会からのお知らせ事項、寄付等の進捗状況なども見ることが出来ます。

一方、皆様からの情報を受け取ることが出来ます。年度ごとの同窓会や同期会等の情報を戴ければ、直近の会報誌に記載できます。

また、仲間同士の小規模な飲み会・ゴルフ・囲碁、菊作りなどの趣味等の情報も、互いに健康を確かめるものとして、ホームページを通して情報の交換ができれば素晴らしいことです。その際には、写真等の提供を戴ければ、会報を通して、中身の濃いつながりができると思います。

中央学院校友会のホームページ HPアドレスは下記の予定

<http://cguch-alumni.org>

### ★ 校友会報配布の見直し

(重要事項のお知らせ)

校友会報は、毎年1回の編集と卒業生への配布を実施しています。

作成数は7,500部、在校生の手渡しする部数を除いて、ほとんどが郵便で皆様の处にお届けしています。それにかかる編集・印刷・送料等の総費用は、概ね年間百万円に上ります。中でも切手代のウエイトが大きいのが特徴です。

一方、校友会の会費納入者は200人足らずで、毎年大きな不足額が生じるために基金から補充しているのが実情です。平成25年には、年間発行を2回から1回に削減して経費の節減を図ったのも、こうした事情に配慮したものです。これ以上の負担増は、間近に迫った120周年記念事業の取り組みにも影響することが危惧されるところでもあります。

そこで、平成29年度から校友会のホームページが立ち上がり、校友会会報がその中に組み込まれるようになったことを契機に、会報の送信を中止することに致しました。皆さんのところにある電子機器、なければ子どもやお孫さんの機器で開けることができます。最新の会報はもちろんのこと、過去にさかのぼって見ることもできます。

なお、校友会の年会費を納めている方並びに在校生には、従来通りの紙ペーパーでお届けします。会費の拡充を図り、校友会の財政を確立するためにご支援ご理解をお願いします。

**平成29年の合同新春懇親会**

卒業生が学校行事に参加できる機会です。日頃、付き合いのある同窓生をお誘いして、お申し込み下さい。

日時・平成29年1月27日（金）

18時受付

18時30分開会

会場・アンフエリシオン

江東区亀戸1の23の1

03・5608・5381

会費・六〇〇〇円

申込・FAX 03・5836・7025

に氏名・住所・卒業期・連絡先を記入下さい。

**交通案内**



**「校友会費の説明並びに納入のお願い」**

校友会費については、昭和五十八年十月二十日で会則が改定され、現在は次のようになっていきます。

年会費 三,〇〇〇円

特別会費 二〇,〇〇〇円

昭和五十年十月の改定で終身会費二〇,〇〇〇円を決定いたしました。以降これを特別会費とさせていただきます。勿論過去において終身会費として二万円を納入して下さった方は、そのまま終身会員の取扱いをさせていただきます。諸事高騰の折柄お願ひとして年会費も御払込願ひすれば幸いです。今後は年会費で通常経費をまかなひ、特別会費分は基金として積立て、将来学校のお役に立てたいと考えています。

現在会費の未納が多く、基本財産を取り崩している状態です。

どうか皆様

基本財産として特別会費

一金 二万円

亦是運営費として年会費

一金 参千円

を左記宛で納入下さいますようお願い致します。

尚、同封の郵便振込票(振込手数料無し)でお振込み下さる場合は、通信欄にコード番号をご記入下さい。

郵便局

東京 〇〇一三〇一五一一一九

三井住友銀行 日本橋東支店

〇三四一七二五〇〇六九

宛名 中央学院校友会

本部住所 〒一三六〇〇〇七一

江東区亀戸七一六五一一一

TEL 〇三二五八三六二七〇二〇

**「中央学院大学院大学 中央高校の教育整備費に係るご支援のお願い」**

平成28年度から、本校の教育環境実現を図ると共に運動系・文化系クラブの活動を継続的にサポートし教育強化を進めて行くことを目的として始められた標記の『寄付金』の進捗動向については、本紙面を借りて記載したいと考えております。

中央学院大学中央高等学校の現在の寄付金の状況は左記のとおりです。日本の経済状況が先の見えな厳しいところがありますが、母校発展のためにご協力ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成27年4月1日～平成28年12月現在		
	件	金額
寄付金	119件	1,230,000円

**編集後記**

熊本地震から始まり、鳥取・福岡・北海道・福島へと範囲が広がり、日本のどこに行っても地震との付き合いが切れることはないことを知らされました。続いて、阿蘇山の噴火まで重なる、昨年の箱根小涌谷・木曾の御嶽山等を思い出すと日本列島そのものが心配になります。

毎年、秋になると防災訓練が町ぐるみで開催されます。私のところでは、小学生が50人ほど集まり、前夜から学校の体育館で避難者受け入れのための段ボール間仕切り訓練をした後、朝には炊き出し訓練をします。そのまゝ、大人達が参加する防災訓練に合流します。毎年このことなので、見事に統率できるようにします。

ところが、こうした防災訓練は東京地域に限って実施されているとのこととです。阪神地震や最近の東北地震では、防災訓練ほどの大々的な活動には至っていないのが現状のようです。東京大震災から、100年近くが過ぎました。首都直下型地震の到来が専門家の人達によって言われるようになってきました。過去には69年説など、まことしやかに唱えた学者もいましたが、本当のところは分らないのでしょうか。

災害は忘れたころにやって来る、また、備えあれば憂いなし、と言う教訓が昔から言われています。現在は地震が来たら、すぐ火を消せ！ではありません。安全な場所に身を隠せ！が正解です。

昌酒